

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4			
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「身寄り、地縁」となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を解決するために	課題を抱える親子、早期発見し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために			
1	下関市	西部第2							○	委員が民生委員・児童委員として自覚し、また地域で認識してもらうためユニフォームを制作。地域の行事活動等で活用した。直近では、令和5年10月25日の地区民生委員協議会会長・副会長研修会や、西部第2地区民生児童委員会研修会など。	【成果】 揃いのユニフォームを着用することで、自覚と一体感が生まれ、市民にもPRすることができた。 【課題】 今回交通安全運動の団体は多岐にわたり、また実施団体も時期によって違うことが分かりました。	
2	下関市	彦島第1							○	地域住民への積極的なPR活動のひとつとして、「彦島第1民児協」の文字とイラストを印刷した手提げバッグを作成した。民生児童委員としての活動時に個々が活用している。	【成果】 民生児童委員としての活動実態が地域住民に伝わりやすく、周知を図る一助となった。 【課題】 民生児童委員としての活動が周知されては不都合な場合には使用を控える必要もあり、使用方法について委員間で十分な共通理解を図った。	
3	下関市	清末	○	○	○				○	○	・高齢者と子どもたちの交流を図るため、プランターに花植え作業を共同で行った。 令和5年5月10日 清末保育園 プランター数10 子ども18人、高齢者13人、民生委員9人 令和5年5月22日 清末用地園 プランター数10 子ども16人、高齢者13人、民生委員8人 令和5年6月20日 清末小学校 プランター数32 子ども72人、高齢者14人、民生委員9人 プランターには前後両面に「民生児童委員協議会」の抜き文字を印刷して、保育園、幼稚園、小学校はもちろん、清末公民館、高齢者施設、病院等の公共施設に設置して見てわかる民生児童委員協議会のPRに努めた。 ・今回初めて清末地区での民生児童委員協議会の活動内容をPRするため「民生児童委員会だより」を234部カラー印刷して、自治会の回覧物で地区住民に回覧した。今後はこれを機会に、4回/年程度「民生児童委員会だより」を発行していく予定です。	【成果】 保育園、幼稚園、小学校の先生方も地区の高齢者との共同作業で、子どもたちの思い出になると、今後も、地区とのつながりを強めていきたいとご意見をいただいた。公共の場所に「民生児童委員協議会」印刷のプランターが配置され、PRできる。 【課題】 プランターの花は春から秋まで長期に咲き続けるマリーゴールドとサルビアを選択したが、秋以降に球根植物が植えられるように予算を付けることを考えたい。

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を支援するために	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活動のために		
5	宇部市	見初	○						○	<p>・見初地域づくり協議会の健康・福祉部会活動を確立し、地区内の健康・福祉に関する活動を推進する。 ふれあい昼食会「見初地区社協主催行事に参加協力」委員参加者11名 日時：令和5年10月21日（土）11:00～12:00 場所：見初ふれあいセンター3階 ・視察研修及び出前講座の受講による民生委員・児童委員の資質向上を図る。 研修旅行（下関ケアハウスフロイデ彦島）日時：11月11日（土）参加者：13名（欠席者1名）特別参加者として民生児童委員OB 3名 総参加者：16名 実施内容：施設を見学させていただき、ケアハウスが地域に共生している事例等を学んだ。 ・民生委員・児童委員の日における活動強化週間において、全委員によるPR活動を実施する。</p>	<p>【成果】 ・参加者の皆さんより好評をいただきました。 ・各施設を見学し、説明を受けてケアハウス、グループホーム、デイサービスの内容および入居者、利用者への対応を学び、高齢者への理解と対応を学ぶことができた。 ・お互いが協力し合い、役割分担をしながら地域社会づくりを進めることの共通認識を福祉委員と深めることができたようだ。 【課題】 ・会場が3階で足腰の悪い高齢者の方から、3階に上がるのが苦痛で、参加者の人数に影響しました。場所の変更も考えていきたい。 ・今後、研修旅行は県内にとどまらず、県外にも足を伸ばしたい。 ・今後も委員の資質向上のため、幅広い研修を行いたい。</p>
6	宇部市	神原		○					○	<p>・「ふるさと部会」として昔ながらの遊び、小刀の使い方などを子どもたちに経験させる活動を実施。竹を使い、竹とんぼ・水てっぽうをつくり、そうめん流し（はし、器作り）・もちつき・しめ縄・門松づくり 令和5年6月～12月 年6回実施 児童延18人 地域住民参加者延90人 担当委員延40人 計130人 ・民生児童委員の資質向上 体験型学習消費者教育施設「まなべる」研修 令和5年7月12日 参加者15人</p>	<p>【成果】 ・まずは私たち委員の顔を覚えてもらうために、子どもたちとコミュニケーションをとった。会を重ねるごとに子どもたちに身近な存在になった。 ・振り込め詐欺が多発していたので、実際に体験することで改めて詐欺の怖さを知ることができ、これからの活動にとっても役立つことになった。 【課題】 ・より多くの子どもたちと交流を増やす活動をしていきたい。 ・子育て支援活動については、将来にわたって継続していくことが重要である。 ・地区民児協の活動に際して、委員同士での意見交換を活発にしていきたい。</p>
7	宇部市	琴芝	○		○				○	<p>・教育機関との連携（小学校学習ボランティア） 1年生の見守り支援～授業見守り1時間、プール見守り1時間 授業見守り：令和5年6月12日～11月10日（うち62日間、のべ参加人数50人） プール：令和5年6月12日～7月11日（うち10日間、のべ参加人数10人） ・子育てを応援する地域づくり（安全づくりのお話を聞く会 参加、PRグッズ配布）令和5年9月1日 参加人数3人 ・民生委員・児童委員の活動発展（SOS見守り声かけ模擬体験）令和5年9月27日 参加人数8人</p>	<p>【成果】 高齢者の気持ちを理解するため、特に認知症のロールプレイ実習を行うことで、委員の資質向上に努めた。それを生かして普段の民生委員活動（例として声掛け、面談）の関わり方の幅を広げた。 【課題】 対象者個人の特性に合わせた関わり方をさらに模索し、スムーズなコミュニケーションを行えるよう、研修等を行っていきたい。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	の子どもたち「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる地域	する地域づくりを進める	たまたま支えるため	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童の理解制度やその活		
8	山口市	仁保	○	○						<ul style="list-style-type: none"> ・中学校を訪問し、授業参観 ・仁保地区支え合い隊(ゴミ出し支援を中心に高齢者を支援)設立の支援 ・防災の観点に立ち、避難用のマットの購入 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の最近の状況が分かり、よかった。 ・避難用のマットが購入できてよかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の授業参観 ・防災用具の充実
9	山口市	鑄銭司	○							<p>【目的】</p> <p>新任の民生委員、福祉員が多い中、訪問時の着眼点や見守り対象者(認知症の疑いあり)などの関わり方等について学ぶ。それにより民生委員、福祉員が、自信をもって接することができるようになり、見守り対象者(認知症の疑いあり)との間に信頼感が生まれ、地域の福祉ネットワークがより強固なものになることを目的とする。</p> <p>【事業実施内容】</p> <p>地域内から福祉関係の講師を招いて、民生委員、福祉員、単位自治会長、地区社協等を対象に、訪問時の着眼点や見守り対象者との関わり方などについて後援していただき、講演の中でワークショップなども取り入れ、課題に対しての共有化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時、場所: 令和5年11月25日(土)午前9時~11時 鑄銭司地域交流センター ・実施回数: 1回 ・参加者数: 合計24名(講師7、民生委員5、福祉員等10) 	<p>【成果】</p> <p>研修事業を通じて認知症の方(認知症の疑いあり含む)への対応方法を学ぶことができ、臆せず訪問する自信がついた。</p> <p>鑄銭司地域包括支援センター地区担当はじめ、ケアマネとの情報共有がスムーズに行えるようになった。</p> <p>【課題】</p> <p>より多くの関係者が参加できるよう、開催時期の検討や複数回に分けて開催するなど工夫し、広報で参加案内するなどして地域内に幅広く呼びかける。</p>
10	萩市	田万川		○	○					<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、児童生徒の登下校時に、見守り活動や交通安全運動立哨を実施した。参加委員17名 ・8月6日、中学生が運営するゲームや売店に児童や家族が参加する「ミニミニ縁日」を支援した。参加委員5名、参加者150名 ・8月15日、地元住民や帰省客が集い開催された「小川夏まつり」において、児童生徒が参加する事業を支援した。参加委員9名、参加120名 ・3月31日、乳児、児童を持つ家族が一堂に会し、料理やゲームを楽しむ「あったかホットファミリー」を支援した。参加委員5名、参加者80名 	<p>【成果】</p> <p>少子化が進む中、住民の児童生徒への関心が深まるとともに、子育てを応援する各種団体の見守り活動や安全確保の取組が高まっている。</p> <p>【課題】</p> <p>現在は各団体がそれぞれ独自の活動を展開しているが、各団体が横の連携を図り計画性をもって事業を進めていくことが大切である。</p>
11	萩市	三見		○						<p>日時 令和5年7月27日(木)</p> <p>行先 県立美術館(ジブリ展)及び交通安全学習館</p> <p>参加者 三見小中学校小学部13名及び民児協委員9名、三見公民館長1名、計23名。</p> <p>実施内容 ジブリ展及び交通安全学習館見学体験</p>	<p>【成果】</p> <p>1日と一緒に過ごすことにより親近感が深まった。</p> <p>【課題】</p> <p>ジブリ展は中学生等高学年向きだったかとは思いますが、それなりに楽しんでいたと思う。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題をため	課題を抱える親子を、早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活		
12	防府市	華浦	○	○	○	○	○	○	<p>(重点1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員研修会 ・7/10山口県環境生活部県民生活課「セーフティライフセミナー」16名 ・11/13民生委員・福祉員・友愛訪問員研修「山口県大島防災センター」36名 ・3/13民生委員児童委員研修「美祢社会復帰促進センター」10名 ・地区敬老会(対象1698名)、委員15名→名簿作成、弁当券と商品券配布 ・当日受付手伝い(7月～9月) ・11/5地区文化祭への協力15名→各バザー手伝い。 ・3/3福祉ふれあい弁当配布735食。民生委員17名+福祉部員61名(児童重点1) ・華浦小学校児童との「おしゃべり会」5/9、5/22、9/5、9/12、11/7、11/20、2/6、2/19(延べ50名) ・9/12華浦小4年生福祉授業サポート4名 ・登下校時見守り活動(児童重点2) ・華浦地区子ども会との連携。11/3餅つき手伝い200名(委員3名)、1/14どんど焼き300名(委員5名)。母子推進員活動との連携→無し (重点2) ・福祉員、友愛訪問員(華浦地区福祉部)と連携して訪問活動。各関係機関へつないだ。 (児童重点3) ・夏休み前(7月)と冬休み前(12月)に桑山中(生徒主任)と連携して不登校生徒の情報交換。→7/10(20名)、12/11(20名)主任児童委員、児童生徒に関する研修参加及び各関係機関(華浦小、桑山中、華浦地区育成会、華浦小PTA、県教委、市教委、市こども支援課、警察署、児童相談所等)と連携し、相談者の安心窓口となることに尽力した。 ・毎月第1土曜日夕方に青少年補導巡回(地区民児協会長、主任児童委員) (児童重点4) ・就学時健診や仮入学において、地区民生委員名簿を配布し、活動紹介、啓発 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に新型コロナウイルスが5類になり、全てコロナ前にはいかないが、人が集まる行事、研修が復活した。令和4年12月に民生委員・児童委員と主任児童委員、令和5年4月に福祉委員と友愛訪問員任期更新があり、新任委員とコロナ禍で活動制限があった一期目委員へのサポートに苦労したこともあったが、概ね事業を消化できた。 ・児童生徒を取り巻く環境は、年ごとに懸念することが多くなってきた。華浦小での「おしゃべり会」は、児童が地域の人々にいろんなこと、悩んでいることを聞いてもらいたいと予約申し込みし、親でない先生ではない第三者と1対1または1対2～3でおしゃべりする会。リピーターの児童もいる。別れ際の子どもたちのスッキリした笑顔が印象的だった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20名の民生委員や85名の福祉委員、友愛訪問員の多くが有識者や自営業等で、研修や行事参加が少ない。日曜日に可能な視察研修先を選ぶが、参加者が固定化している。 ・当初企画を予定していた県外(一泊二日)研修は、参加者満たずで中止した。せめて3年に一度は実施したい。 	

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価	
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4			
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	「子どもたちの「身近なおとな」となり、子育て応援団となる」地域	子育て地域づくりを進める	さまざまな課題を抱える人びとを支えるため	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために			
13	防府市	右田		○					○	○	<p>・定例会開催(地区内の小・中学校会議室) 2月15日 右田中学校 23名参加 6月21日 玉祖小学校 25名参加 10月18日 右田小学校 24名参加 定例会を学校ですることにより、学校の各種行事にも委員個人として参加しやすくなる。</p> <p>・県及び市社協、県及び市民児協、その他関係団体が開催する各種セミナーへの出席は、内容により誰が出席するのかを定例会で協議し、できるだけ偏らないように配慮しながら決定した。</p> <p>・民生委員・児童委員の認知度を上げるために、「民生委員・児童委員」の職務や制度等についてのパンフレットを作成し、地区内の全戸に配布した。また、新入学児の仮入学時には、主任児童委員が保護者にも配布した。</p>	<p>【成果】 学校で定例会をすることにより、全員とはいかないが、その他学校主催による各種行事へも委員個人として参加する機会が増えた。特に18名の新任委員は、セミナーに出席することにより、委員として何が必要で何をすべきかを学べた。</p> <p>【課題】 各委員の受持ち世帯数に格差があり、多くの対象者がいる委員は日常の活動で手一杯で、気になる方がいても思うようには訪問活動等ができないという事態も見受けられる。</p>
14	下松市	西豊井	○	○					○	○	<p>日時 令和5年11月7日(火)8:30下松市出発。参加人数:20人 岩国防災センター・ふくろう公園にて防災の研修をいたしました。 防災センターでは、さまざまな災害を映像で学習した後、消火体験・煙の中の脱出体験・地震体験をいたしました。 防災センターに隣接しているふくろう公園では岩国市役所の公園担当の方と防災の担当者による公園内の防災設備の説明を受け、子供たちが遊び回っている公園と遊具が災害時にはさまざまな設備になることを聞きました。 帰りのバス内で同行の下松市職員さんから下松市のスポーツ公園内の防災設備について詳しく説明を受け、南海トラフ地震や日本各地に起こっている災害に対応して各地で避難場等の準備が着々を進められていることを学びました。</p>	<p>今まで下松市は大きな災害が起こることも少なく、民生委員含めて地域の方々も災害に対する危機感が薄いように感じています。 この研修を受けたことで具体的な対応の方法を学び、火災や地震の怖さを体感したことは今後の活動に活かされると思います。この経験を担当地域の方々へ伝え、避難の大切さや備えることの重要性を地域全体で共有できたらと期待しています。 今後は下松の防災設備についてももっと学習し、地域を巻き込んでの防災の学習ができればと思います。今後小学校での学習を予定していますので、子どもたちとも防災のことを共に学んでいく予定です。</p>
14	下松市	東豊井	○	○	○				○	○	<p>子ども会活動の後方支援として寺子屋活動をしているボランティア団体(きらめき旗岡っ子育て連絡会)と協働して冬休みの年末の餅つき大会を行った。共働き世代の過程が多い中休み期間に子どもたちが楽しめる事をと考え実施した。 豊井公民館区での子ども食堂YoiYoiキッチン豊井、の支援として民生児童委員と地域のボランティア、子どもたちが長い恵方巻を作りみんなで食しました。2024.2.3ロング恵方巻約6.5mを作成 以下代表者 加地代表の言葉 子どもたち約20名が参加し約6.5mの恵方巻が完成しました民生児童委員の皆様には、助言、サポートを頂きました。そのほか調理でもご協力いただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。</p>	<p>【成果】 地域の子どもたちと接することにより保護者、地域の大人他多くの方々と交流が出来ること、それにより民生児童委員の存在を知ってもらえる機会ができた。</p> <p>【課題】 その時だけで終わることのないようにしたい。継続できる支援を考えたい。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を抱える人びとを支えるために	課題を抱える親子を早期に見え、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために		
15	岩国市	南河内				○				<p>・7月、11月及び1月の地域サロン(3地区)に参加し、出席者から生活状況、困りごと等について聴取した。サロンの参加者は、平均1地区1回10名程度であった。</p> <p>・8月、12月、2月の福祉員の都合の合う日に地区ごとにサロンでの聴取内容を持ち寄り、意見交換して活動方向についての認識を共有した。</p> <p>・3月5日に山口市において地域の実態を視察して、昼食時に各位の感想を出し合い、各委員の持ち場での活動の参考とした。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン参加者の日常の希望を忌憚なく聴取でき、活動の重点の方向性を認識できた。 ・福祉員と活動の方向を共有できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進行で自力での出席者が減少傾向で、安全、効率的な送迎の工夫が必要 ・他地域との交流を円滑に行うには、事前の十分な打合せが重要
16	岩国市	通津	○	○						<p>・地域行事(自治会)やサロン活動(延べ45回)に積極的に参加し、参加者と交流を図り、地域とのつながりを深めた。また民生児童委員活動内容を地域にPRするために全世帯にPRチラシを担当地区委員名を入れ配布した。(1600世帯)</p> <p>・通津地区ご近所支え合い会議で高齢者向けに作成した、暮らしの便利表(緊急連絡、暮らしに役立つお店、地域活動、担当地区民生委員、福祉委員の名前入り)をひとり暮らし(330世帯)ふたり暮らし(110世帯)の高齢者へ実態調査、見守り活動時に手渡し、支え合える地域づくりに役立てた。また、出張所にて便利表に担当委員名を入れ、必要な方へも配布</p> <p>・児童生徒の登下校時に「あいさつ、声かけ」運動を実施した。実施にあたり学校に呼び掛け、児童生徒によるのぼり旗(25枚)の制作を依頼した。制作したのぼり旗を通学路や学校周辺に設置し、大人も子どもも気軽にあいさつ、声かけができるよう、登下校や見守り時に、児童生徒や地域住民に声かけを行うとともにあいさつ運動の推進に役立てた。また、あいさつ運動について地域の広報誌(つづたより)に掲載し、地域住民に周知を図った。</p> <p>・年4回(春、夏、秋、年末)行われた交通安全運動期間中に、通学路や横断歩道に立ち、「あいさつ、声かけ」と交通ルールを守るよう児童生徒に呼びかけを行った。また、地区交通安全協会主催の街頭キャンペーン3回(民児協延べ28名)参加した。</p> <p>※上記の活動時には民児協のネーム入りベストを着用し活動を行った。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員のPRチラシ配布や、高齢者、児童生徒の見守り時、行事等に民児協のベストを着用し活動することにより、地域住民や児童生徒に民生児童委員としての活動が見え、認知度が増したと思います。 ・高齢者用に作成した暮らしの便利表はA3版で見やすく、大変好評で利用いただいた。 ・あいさつ運動については、子どもたちの声も大きくなり、のぼり旗制作により児童生徒へ意識づけもでき、学校から大変良かったとの声をいただき、今後も継続していくことにします。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの便利表、あいさつ運動の、のぼり旗等継続する事業については、財源確保の検討を行わないといけない。 ・あいさつ運動について、学校との連携は良かったが、地域住民との連携が十分でなく、今後広く地域に浸透するよう連携を図る必要がある。

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価		
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4				
			地域のつながり、地域力を高めるために	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる	子育て、子育てを進める	さまざまな課題を抱える人びとを支えるため	課題を抱える親子、早期発見し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活動のために				
17	岩国市	師木野	○		○					○	○	<p>・令和5年8月10日 三世交流 パン作り 参加者30人 ・令和5年10月12日 救急セミナー 簡単な救急法について 参加者22人 ・令和6年3月12日 生け花教室交流会 フラワーアレンジメント 参加者22人</p>	<p>【成果】 ・三世交流 子どもたちが個性豊かにいろんなパンを作りました。 ・救急法 講師の人が全員に体験させてくださり、食事の時、その話で盛りあげられました。 ・フラワーアレンジメント いつも行事に参加していない人も参加し、評判が良かった。 【課題】 ・男性の参加が少ないことと、他の行事とパツティングしないよう、工夫しなければと思います。</p>
18	光市	第4								○	○	<p>【事業内容】地域共生社会を構成する一員としての子どもたちとの交流 (1) 地区内3小学校を訪問し、ジュニア福祉員(5・6年生)を対象にフリーペーパー「みんせい」を使つての授業 令和5年4/18(火)14:45～上島田小学校20名 令和5年4/28(金)13:20～周防小学校22名 令和5年5/8(月)14:05～三井小学校40名 リーフレットを使つて、民生委員・児童委員の自己紹介及び担当地区紹介 (2) 高齢者宅をジュニア福祉員と一緒に友愛訪問 歳末見舞品の配布時期に合わせて実施</p>	<p>【成果】 実施するにあたって、事前に学校側と内容、実施日等の打合せを行い、しっかり連携がとれたと思う。 子どもたちからも顔を覚えてもらえたせいか、挨拶運動時にも親しみが増し、道で出会つても声をかけられるようになった。 【課題】 友愛訪問は、実施時期を考える必要があつた。 地域の中で、高齢者の見守り・支援のみならず、子どもたちと「身近なおとな」としての関わりを、個人ボランティアも含めて、組織として関わっていければと思う。</p>
19	長門市	油谷	○	○	○							<p>【目的】 誰もが支え合える地域づくり構築のために、関係機関との連携を強化する。地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、児童との交流を図る。 【事業内容】 ・小学生との交流事業 ・市内施設等の訪問事業</p>	<p>【成果】地域の子どもたちと交流を図り、元気に暮らせる地域づくりを行った。市内施設を訪問し、民生委員・児童委員活動の周知と連携を図つた。 【課題】民生委員・児童委員活動への理解や周知を強化し、地域全体で支え合えるような対策を考える必要がある。</p>
20	柳井市	阿月	○	○	○						○	<p>日時：令和5年8月4日(金) 回数：1回 参加者：高齢者16名、小学生12名 ・高齢者から、お手玉(3個使用)、こま回し、けん玉、へそ飛行機(紙飛行機)の遊び方を習う。 ・小学生から、防災についての説明(パワーポイント) ・全員で、子ども食堂のランチの試食</p>	<p>【成果】 高齢者と小学生、保護者が楽しく遊び、「どこのどなた？」と聞き合つておられ、和気あいあいだった。 【課題】 夏休みを利用して行ったが、今年の夏は暑い日が続く、開催当日もとても暑い日だった。高齢者の方たちは自宅から公民館まで歩いていくため、今後開催時期を秋にする等の検討をしていきたい。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	「おとな」の子育て支援となる「おとな」の「身近な」子育てを推進する	子育て、子育てを推進する	さまざまな課題を解決するために	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させるために	児童委員制度やその活動の推進のために		
21	美祢市	於福	○	○						<p>○福祉活動推進連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月22日(33名参加) <p>地区社協総会終了後連絡会を開催。各民生委員担当地区ごとに福祉員との意見交換を行い、情報の共有化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月14日(29名参加) <p>福祉員との合同研修会で、全民児連作成のパンフレットを使用して民生委員制度及び活動内容等を説明し、その後担当地区ごとに意見交換を行った。</p> <p>○於福の子どもを見守る会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月6日(20名参加) <p>小学校、駐在所、町内団体等の委員が参加し、小学校及び町内の情報の共有化を図るとともに、「ながら見守り」の継続を依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月6日(20名参加) <p>7月開催以降の状況について意見交換を行った。その中で現在児童が付けている熊鈴の話があり、校長から教育委員会から借用している物で、近日中に返還予定とのことであったので、地区社協と共同で必要数を購入し、小学校に寄贈することとした。</p>	<p>【成果】</p> <p>地区福祉員、学校、見守る会委員との交流が図られるとともに、情報が共有され活動が円滑に実施できるようになった。</p> <p>【評価】</p> <p>於福地区は全てが中間山地で、地域も広いため見守り等が十分に機能しているとは言い難い状況である。特に福祉員は毎年交代される地区が多く、連携の継続が困難である。</p> <p>子どもの見守りについては、交通事故無事故が1万日をこえ、効果があったと思われる。また、熊ベルの寄贈により、安心感につながったと思われる。</p>
22	周南市	関門	○							<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月21日 防災アドバイザーを招いて、老人クラブの会員と共に、近年発生した大きな地震の被害状況の説明を聞いた。また、家具転倒防止の必要性についても学んだ。参加者26名 ・令和5年8月23日 関門地区自主防災組織とともに、転倒防止器具設置について協議を行った。 ・防災や避難に関する物資を購入した。 	<p>【成果】</p> <p>委員間で情報を共有し、防災意識の高揚を図ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>高齢者への啓発を、他団体とどのように連携強化していくかが課題である。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために、	子どもたちの「身近なおとな」となり、「子育て応援団」となる地域	子育て、子育てを支援する地域づくりを進める	さまざまな課題を支援するために	課題を抱える親子を、早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活		
23	周南市	向道長穂	○	○						<p>3地区の高齢者サロンに参加し、イベントを開催。夏休みの子どものつながりを支援するイベント開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長穂地区 夢プラン主催の高齢者サロン2回開催(5/9, 11/7) ビンゴ大会実施(民児協、地区社協、コーディネーターなど参加) ゲーム景品購入、参加者35名 ・大道理地区 コロナ禍より市民センター主催の百歳体操へ参加(毎週水曜日)し、レクリエーションを実施。(ビンゴゲーム、クイズ) 8/30外出意欲向上のためのサクソフォン演奏会を実施。演奏会を楽しんだ後に参加者で弁当を食べて歓談後、百歳体操を実施。参加者30名。(民児協、福祉員、市民センター、中学校音楽教諭) 11/8市民センターへ来れない高齢者の集落単位のサロンの支援を実施 ・大向地区 7/28学校統合後の地域の子どもたち同志のつながりの強化と、夏休みの行事として料理教室を開催。民生委員と子どもたち、および市民センター職員が協働で、料理から配膳、食事、片付けをし、子どもたちと話し、ふれあいを深めた。 	<p>【成果】 3地区でそれぞれ活動する民生委員の高齢者サロンを支援する意識の向上と、活性化への取組や福祉関係者との協力、情報共有ができた。地域の子どもの減少に伴い、バス通学の子どもたちとのふれあいの確保ができた。</p> <p>【課題】 3地区へお互いに参加し、担当地区以外を知る取組の推進をする課題が、各地区のスケジュール調整であまりすすまなかった。</p>
24	周南市	鹿野	○							<p>日時 令和5年7月14日 15時30分～17時00分 場所 周南市鹿野小学校体育館 参加者数 小中学生、保護者、地域住民 100人以上</p>	<p>【成果】 参加者は講師のパワーあふれる公演に感動を共有できた。子どもたちは夢を持つこと、体を動かすこと、挨拶をすることの3つの約束は、未来のために大切なお話だった。会場に集まった全員が元オリンピック選手からストレッチを習い、じゃんけんゲームで脳活も行う。</p> <p>【課題】 学校と繰り返し協議を行うが、開始時間が学校行事以外になるため、保護者の意思で参加申込をすることになる。学校行事で全員参加が好ましいと思う。</p>
25	山陽小野田市	第2		○						<ul style="list-style-type: none"> ・タスキの作成(購入) 委員全員にタスキのデザイン(文字、色等)を募集 ・あいさつ運動 一声運動の充実(2日/月を目標とする。) 委員全員に実施状況のアンケートを実施。意識啓蒙を図る。 	<p>【成果】 タスキのデザインやあいさつ運動実施のアンケートを行うことにより、全員の意識が高まり、未実施の委員が実施したり、回数、時間の増加などで子どもたちとの接触が多くなった。</p> <p>【課題】 登校時は多くの委員が実施しているが、下校時の実施が難しい。集団下校等を把握してその時間帯を利用することなど考えたい。</p>

令和5年度 地区民児協活動強化方策推進事業

No.	市町名	地区	実施した事業							事業内容	事業実施に対する自己評価
			重点1	児童重点1	児童重点2	重点2	児童重点3	重点3	児童重点4		
			地域のつながり、地域力を高めるために、地域	「おとな」となり、「子どもたち」の「身近な」子育て支援となる	子育て、子育てを支援する地域づくりを進める	さまざまな課題を抱える人びとを支えるために	課題を抱える親子を早期に見出し、つなぎ、支える	民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために	児童委員制度やその活動の理解を促進するために		
26	上関町		○				○		○	<p>地域での交流等減少のため、民生児童委員の研修と地域ボランティアとの合同での研修を実施した。今年度は民生委員10人とボランティア16人とで合同の研修を実施。3月27日に大島防災センターへの見学、情報交換会も実施。その他に、個別にボランティア活動等や会議への参加実施</p>	<p>【成果】 以前は各団体ごとで研修や勉強会等を実施するだけだったが、合同で実施することで、地域の一体感を感じることができた。また、民生委員として地域に関わるきっかけもなった。</p> <p>【成果】 諸事情により参加できなかった民生委員もおり、地域での格差があった。ボランティアについても、担い手不足から活動が減少しているため、民生委員にかかる負担が増えている。</p>